



■日時:令和7年9月7日(日) ■会場:フェリー埠頭・八戸キャニオン
参加者:会員 18名・家族 3名・引率 5名 計26名



巡検経路

- スケジュール**
- 8:40 受付開始
 - 9:00 出発(バス)
 - 9:15 フェリー埠頭見学
 - 10:00 八戸キャニオン見学
 - 10:50 道の駅はしかみ(着)
 - 11:20 道の駅はしかみ(発)
 - 11:40 到着後、レポート作成
終了、解散

趣 旨

シニアクラブでは、地球科学分野における国内最大の学会である JpGU(日本地球惑星科学連合)2026大会参加を目指しています。その取り組みの1つとして野外巡検を行います。ジオパークについて研究するにあたり、ジオサイトとその周辺を実際に歩き見学することにより、知識と理解を深めます。



9:00 マリエント出発 フェリー埠頭見学

高橋晃シニア会長よりバス車内で説明を受けながら見学開始。
始めはフェリーふ頭へと向かいました。付近の施設をバスで回り見学しました。
移動中、車窓から見える景色から八戸港の埋め立て前のお話や、川の状態、地域名の由来など八戸港の歴史や堤防と港湾施設の学習をしました。



グレットタワーの手前側にあるベージュ色の建物は昔は海の交番だった場所。
船の交通整理をしていたところで当時は旗を振って信号の変わりをしていました。



豚や牛に食べさせる飼料がたくさん入っている工場。外国産の穀物を使っていたりするため、トラックからこぼれた種により、この付近は外国の植物の宝庫となっています。



マリエント
「ちきゅう」たんけんクラブ
シニア会長
高橋 晃様



野生のフェネル。黄色くニンジンのような植物。サラダやパスタ、魚料理の香りづけなど、料理に使われるハーブです。今はちょうど花が終る頃です。



フェリー埠頭・ターミナル

この辺りは以前、製鉄関係の工場などたくさんありました。駐車場内にトラックが停車していますが、ターミナルまで人が運んできて、コンテナをフェリーに載せて運搬しています。



馬淵川を越えていきました。馬淵川は、明治時代は川付近の道路も今の川も無く、馬淵川が氾濫しないように現在の道路と川が作られたそうです。
今のピアドゥ付近から港までの川があり、新井田川と馬淵川が1本になり海に注がれていましたが、馬淵川が氾濫すると非常に大変なことになるので、現在のよう道路と川を作って海へとまっすぐ通しています。また、川沿いに沢山建物が建っている場所は三角州という川が運んできた土砂で、出来た当時は島のような場所でした。(今は橋で繋がっている)今は火力発電所などがあり、豊洲という地名になっています。LNGターミナルのタンク等大きな施設も出来ています。更に、大橋からは、北日本造船の施設も見えました。歴史と共に、港には様々な施設が出来、八戸の発展に繋がってことも学ばず事が出来ました。

10:00 八戸キャニオン見学



石灰岩は、歯磨き粉にも使われている他、住宅の石膏ボードなどにも使用されておりセメントだけでなく、私たちの生活に欠かすことができません



地下を通り、八戸キャニオンとベルトコンベアで繋がっています



石灰石鉱山で正式名称は八戸石灰鉱山。露天掘りの鉱山で、最深部は海拔-70mと、国内で最も空が遠い場所とされています。マリエント近くの八戸港の専用埠頭と八戸セメントを総延長約10kmのベルトコンベアで繋がっているようです。

正面に見えるのが石灰岩。石灰岩の上にある茶色い土は火山灰。海底火山が噴火すると茶色い土ではなく、グリーンタフという緑色で、海水との関係で変わります。
地層を見ると、海底火山は地上に出てから噴火し、降り積もっている、もしくは浅い海で川から流されてきたものが堆積している。そういうものが茶色い土として堆積していることが分かります。あの土は青森県の真ん中にある八甲田の大噴火であれだけ分溜まっています。遠く離れれば離れるほどあの層は薄くなっていくのです。
八戸の景色を見ていると、赤土はどこにでもあり、どこにでもあるということと、和田の火山が噴火して降り積もったからである、ということを感じて下さいね。





メガロドンという大型の二枚貝の化石が発見されたことによる地層の歴史についても学習しました。石灰岩は、何億年も前にサンゴや貝などが堆積してできた岩石。メガロドンは、今から2億2千万年前程に生息していた二枚貝と考えられていることから、八戸石灰鉱山の石灰岩は2億年前頃に形成されることが推測されますね。



石灰石生産量1億1トン達成



メガロドンとは“大きな歯”という意味でそのラテン語が“メガロドン”。「ドン」は「歯」という意味。石灰岩には、メガロドンだけでなく、プランクトン等様々なものが含まれていて、石灰岩そのものが生き物がいた証拠なのです。



11:15 道の駅はしかみ(トイレ・休憩)



お土産を買ったり、ソフトクリームを食べたり!! 各自休憩中!!

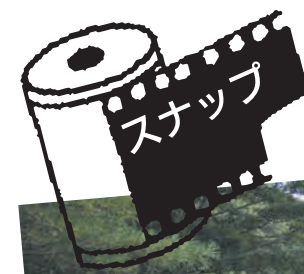
11:40 マリエント到着



今日の振り返りとレポート作成中!!



本日ご指導いただきました、たんけんクラブ高橋晃シニア会長、井上貫之ジュニア会長、横葉和浩副会長、ご参加いただきました会員及びご家族の皆様、誠にありがとうございました。今回の活動を通して、三陸ジオパークについて理解を深め、JpGUの大会を目指して学習に取り組んでいきたいと思ひます。皆様今後とも宜しくお願いいたします。



シニア会員初参加! 不思議を探すよ!!



親子でジュニア・プラチナ会員!! 受付を済ませ、資料を手に取り Let's go!!



実際に岩石を触ってみたい!!



標本を見学したり!!

90トンのダンプトラック使用の巨大タイヤ!!

直径が2670mm!!



展望台の下には採掘から運搬まで紹介するパネルが!!

ようこそたんけんクラブへ!一緒に学びましょうね!

南北2km、東西1kmの広大な敷地を展望台から見る事ができます!!



※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	清水 777		学校名	美潮小学校	
学年	3年	年齢	4才	性別	(男)・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

生物の生きている数はたいだ4064

山石



又指人。

サングラス 磯の穴 光線 緑 磯 穴 磯 穴
サングラス 磯の穴 光線 緑 磯 穴 磯 穴
サングラス 磯の穴 光線 緑 磯 穴 磯 穴

↑
アンダー

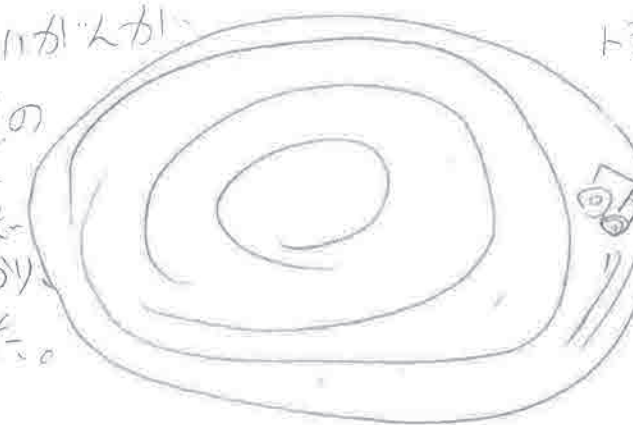
※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	馬場 智子		学校名	新井田小学校	
学年	5年	年齢	11才	性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

今日八戸キャニオンに、ひさし300リに行き、いろんな話を聞けた。その中できもんに思った事があり、そのきもんは、いつか、せっかいかんをとまらにむたのか？と、せっかいかんは、毎年何をとれてるのか？と、いまでダイナマイトは、何本ちゃっかりとどのくらいのはんに広がるのたろう？の3つです。テトラポットは、どうして、あんなに積んでるのたろう？ほうはでいて、どのくらい波の量は防げるのたろう。

キャニオンでせっかかんが
とれなくなつたが、その
あとは、たまたますま
まかんがたなければ
いいことないわが
考えてみようと思つた。



トラハツカ
行生り帰
て来るよつて
おれにた
んきにた
てた。

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	小寺 愛実	学校名	八戸聖ウルスラ学院中学校
学年	中1	年齢	13才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

なぜ三陸ジオパークが八戸港に多くつがわれているのか
八戸マニオンはどのようにして見つかったのか
八戸の海は他の海とどのようにちがうのか(どのような特徴があるのか)
海水は、どのような成分を含んでいるのか

海水と川の水のちがいはなんなのか
八戸マニオンにいるメガロドンの化石は1つの石に何匹ほどいるのか
なぜ石はこれほど一枚ずつはじくことができるのか

海にある岩もマニオンの岩のようにはじけるのか
大玉里石は石灰岩が熱でかわれたということとほじめてしまった。
メガロドンがとてもし大きいのか、食べるものがすごく小さいことを
ほじめてほしい。

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	岩城 隆俊	学校名	八戸市立第三中学校
学年	中2	年齢	14才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

今まで何気なく見てきた工場の水と農作物や工場以外に
農作物もふんでいるとは矢張りませんでした。
農作物も運搬舟受のために港近くで置いておけるの
かと思いました。

石灰岩は日常生活で大変役立つものをかきこん
なに大きな露天掘りにしていると思いました。その
石灰岩を運ぶベルトコンベアの長さや、ベルトが岩を
かき集めている場所が山になっていることにびっくりしました。

メガロドンの貝で開いた身が小さく、ところどころ
気になりました。今の岩にすまわっている貝の身の大き
さがなぜ大きいのか、気になりました。それ以外の
貝をかき集めているのか、気になりました。

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	三田 匠	学校名	八戸高等学校
学年	2	年齢	16才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

八戸港
昔はこの辺り大部分が海だった。今は埋め立てによって
様々な工場や港が建っている。戦後の高度経済成長
に合わせて工業化が進めたのかもしれない。増えたのは
良いことだけれど、今は排他的経済水域、産業地帯などにより、
昔と比べてかなり漁業が衰退している。昭和の頃ほど、とほいかに魚が
豊富で漁業を復興したい。

八戸キャニオン



Xがロドと
某Xを思い出し、
牛舎に隣接している。
ニホ豆の仲間と、
ボウリングの玉と、
ある。こんなやつ
が食料はハダクく、
セコい。

石灰岩はサンゴの骨と
生物の死骸由来のカルシウム
おなじい。
八戸キャニオンは後者石灰
死骸が細かく砕けたもの
が、質が良くなるからと
考えられて作られた。
でも少し前に気づいた。

掘りだした結果、最深部は海抜-170m以上。地表に出る
部分だと日本一深いといえる。そんなところで活動してるトラックも
タイヤの直径が2.6mほどとバグセリサイズ。
この採石場が廃墟になった後の使い道も、たしか人考えたりしている。
特撮の戦闘シーンに使ったらしい。

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	秋山 美鈴	学校名	八戸工業高等専門学校
学年	2	年齢	17才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

<感想>

過去の津波の経験により、様々な方向に防波堤や陸の高さを少しでも
高くすることによって、対策がとれていることが分かった。今まで港周辺の建物に
被害がなかったのは、輸入されたものを保管しておく施設がなかったことと、
八戸キャニオンでは、これまでの歴史が長いこと、例えば、石灰岩をとり出して
運んでいた日付付に、層根の無いものによって石灰が飛沫し、土壌問題になっていた
ため、対策として地下トンネルを通すというアイデアが考えられていることだ。

<疑問>

- ・八戸の石灰岩は品質が良いとされているが、普通の石灰岩とどう違うのか?
使い道、製法も変わっているのか?
- ・生物が溶けて(?) 細かく砕けてきたと言っていた石灰岩は上部と下部(深部)
で成分は変わっているのか?
- ・あと何年分の石灰岩があるのか?

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	新藤 繭	学校名	八戸高専
学年	4	年齢	20 才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

今回八戸港や八戸キャニオンまで行く。今まで見ていた景観の裏側を知ることができてとても勉強になった。
八戸港の埋め立てされる前の頃の話を聞いて、海での食料確保や川の状況、地域別の由来が、それ後の利用された建物跡や新たに造られた建築物など、興味深い話を聞く間に八戸港の歴史も知ることができて面白かった。

八戸キャニオンは観光名所でのみ行っていたが、溶灰岩が削られた理由や火山灰との関係、メカワドと地層の発見による地層の話などもとても面白かった。

特に、鉱山の歴史と今後の活用の話に興味を抱いた。鉱山を廃止する際に観光資源に活用する事例はいくつか知っているが、今回のような露天堀をどう活用するのかわからないため、これをどうやって活かしていくのかに強い関心と疑問、興味を持っている。

令和7年9月7日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	馬場 英輝	学校名	—
学年	—	年齢	43 才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

昨年から「ちきゅう」たんけんクラブに入会させていたため、今日初めて三陸ジオパーク大研究に参加させていたことにした。

八戸のいろいろな歴史を学ぶことができて良かったと思います。

特に八戸鉱山の石灰岩にメカワドが含まれていて何年前の地層かわかるということや、さらに実物の石灰岩を見ることかできて良かったと思います。

石灰岩が削せられると大岩石になるということを知った。

八戸にきて初めて6年に1回しか、お天気に恵まれなくてとても多く毎日参加させていたことに新しいことがわかってとても感謝しています。

中学生の子と防災進め研究の交流も良かったと思います。

是非、研究を続けてもらいたいと思います。(生物のこと、波のこと、防災につなげると思います。)

と、取り進めよう

→防災についても勉強して教えてもらいたいです。

港の釣りポイント → 養鶏場 → 外の工事

→私の仕事につなげる

↑これらがあるところとわかった